



広報

# こしがや

11月15日

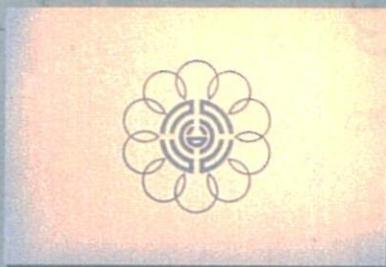
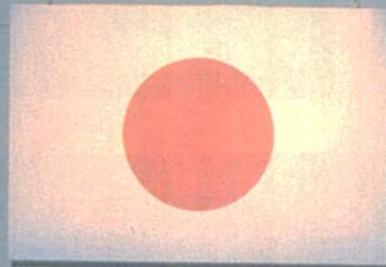
昭和58年(1983) No.701

編集

越谷市役所企画部広報広聴課

1日・  
毎月2回発行

## 祝 市制施行25周年式典 文化都市宣言記念式典



### 声高らかに 文化都市宣言



私は、越谷市に市制が施された昭和23年、大沢に生まれました。去る十一月三日に、市制25周年と文化都市宣言の式典が行われたと聞きましたが、私の成長の歩みは、市の発展の歴史と時を同じくしたわけです。

小学校のころ社会科の授業で、当時の市の人口が四万人台と学んだ記憶があります。幼稚園から小学校に通っていたころ、私の周りには、田園情緒が豊かで、学校の帰りによく田んぼで遊んだのを懐かしく思い起こします。

現在私は、会社員として、毎日勤め先の柏まで武蔵野線で通勤していますが、車窓から見る四季折々の風景が、郷土越谷から消えつつあるのを寂しく思うこのごろです。

さて、私も若者の一人として、スポーツを楽しみ、文化の恩恵に浴することを願う気持ちを持っています。

11月3日、越谷市は文化都市宣言をしました。越谷コミュニティセンターで開かれた記念の式典には、来賓を含め1300人もの人が訪れ、市制25周年・文化都市宣言を祝いました。また「伝統産業のひろば」「郷土芸能祭」「越谷の風物写真展」「越ヶ谷の山車展示」などの催しも開かれ、会場はのべ1万人の市民でぎわいました。

(写真は宣言文を読みあげる島村市長)

すすんで市に対する意見を出したいと思います

越谷に住む人には、私のように市外の会社に勤めている人が多いと思います。このような人たちの中には、越谷を夜寝るために帰る場所だと考えている人もたくさんいると思いますが、そのような人たち、特に私たち若い世代の者がもっと越谷に目を向けていかなければならぬと思います。

越谷市の二十五年と私

大沢 3の14の2

鈴木 木 岳 (25歳)

越谷とわたし

129 ◇◇

「越谷とわたし」は、あなたのコーナーです。みなさんの投稿をお待ちしています。字数は900字程度です。 広報広聴課

市の人口

(昭和58年11月1日) (現在住民基本台帳)

前月比

総人口	24万1079人	570人増
男	12万1652人	307人増
女	11万9427人	263人増
世帯数	7万1307世帯	216世帯増

# 市民の文化熱意を結集して

「教養を豊かにし、人間性あふれる文化のまちをつくります」。このように「市民憲章」にもうたわれているように、文化の香り高いまちづくりは、越谷市民の限りない願いです。

昭和57年4月、越谷市長から文化都市宣言するため、「文化都市宣言制定準備委員会」が設けられ、それが具体案をまとめて答

## 市民の願いをこめて

申してらしくことになりました。

制定準備委員会は市民参加を基調として構成され、越谷市自治会連合会をはじめ、市商工会、農業団体連合会、連合婦人会、文化連盟、体育協会、レクリエーション協会、各ロータリークラブ、ライオンズクラブ等の市民団体のほか、都市計画審議会、公民館運営審議会等の行政機関から選出された委員と、さらには学識経験者、市職員をまじえた31名の市民で組織されました。

文化といえども、これまで一般的には芸術や芸能など、特定の分野に限られるもの、あるいは文化財の保護といったように、歴史的な価値に結びついたものと考えられてきました。もちろん、これらは文化の重要な内容をなしていふといふことはいってもありませんが、制定準備委員会ではもっと幅広く、市民生活の衣食住から生産活動、スポーツ、レクリエーション、まち並み、緑の景観など、およそ人間の生活にかかわるすべての面を含むものとして、文化をとらえていくこととしました。

制定準備委員会では、文化そのもののよつとよつとつていて、文化とはいつたいたいどのようなもののか、といった議論が展開されました。また、同委員会では、「宣言起草部会」、「記念行事部会」、「広報部会」の三つの部会を設け、それれ具体案をまとめて答

ついて宣言文を起草してきました。記念行事部会では多くの市民が参加できる式典を催し、市制施行25周年にあたる今年の11月3日に文化都市宣言をするのが最適であるという結論に至り、広報部会では、今日なぜ文化都市宣言をするのか、その背景について十分に広報する必要があること、宣言後は、広報活動がさらに大切であるとある良いものを今の時代でどう見えることなく、そこに新たな価値をつけ加えて次の時代に引き継いでいくこと。二つは、便利さや物の豊かさが、ともすれば最先端の私たちとは何を考え、何をなすべきなのか、しわせや生きがいとは何か、常に問い合わせ姿勢をもつこと。わざと三つめは、文化と

水野勝美宣言文起草部会長の経過報告



水野勝美宣言文起草部会長の経過報告

ついて宣言文を起稿してきました。記念行事部会では多くの市民が参加できる式典を催し、市制施行25周年にあたる今年の11月3日に文化都市宣言をするのが最適であるという結論に至り、広報部会では、今日なぜ文化都市宣言をするのか、その背景について十分に広報する必要があること、宣言後は、広報活動がさらに大切であるとある良いものを今の時代でどう見えることなく、そこに新たな価値をつけ加えて次の時代に引き継いでいくこと。二つは、便利さや物の豊かさが、ともすれば最先端の私たちとは何を考え、何をなすべきなのか、しわせや生きがいとは何か、常に問い合わせ姿勢をもつこと。わざと三つめは、文化と

越谷の文化を創り、はぐくんでいくのは市民です。市民の文化的

熱意が、まちの隅々にまで満たされてこそ、はじめて文化都市越谷の実現が可能となるでしょう。したがって宣言文は、文化のまちづくりについて、市はもちろんのこと、市民一人一人の固い決意を表明しようとする内容になっています。

制定準備委員会では延べ16回にわたる審議を重ね、おおよそ次のような内容をまとめました。

宣言文起草部会では、文化都市

宣言に関する答申書として越谷市長に答申をし、文化都市宣言については今年3月の市議会において議決され、11月3日の式典を迎えるはこびになりました。

文化都市宣言の根柢に流れることは、市民の誰もが誇りをもつて、宣言文には、文化のまち

づくりについて、市はもちろんのこと、市民一人一人の固い決意を表すようとする内容になっています。

工事期間中は、市民のみなさんのご理解、ご協力をよろしくお願いします。

△左側の伏越(ふせこし)…川と川が交差する場合、片方の川を下に潜らせて流下させる方法をいう、サイホンという名称でも呼ばれる。

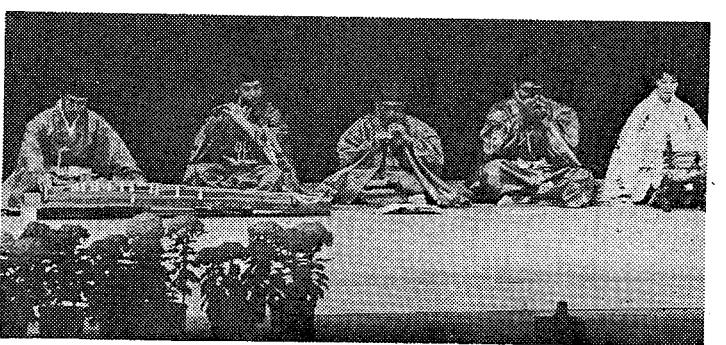
△右側の伏越(ふせこし)…川と川が交差する場合、片

わたしたちのふるさと越谷を「潤いとやすらぎのある文化の香り豊かなまち」に。市民一人一人の願いをこめて、11月3日、文化都市宣言の式典とそれを記念する盛大な催しがありました。今号は当日の状況を市民のみさんに紹介します。

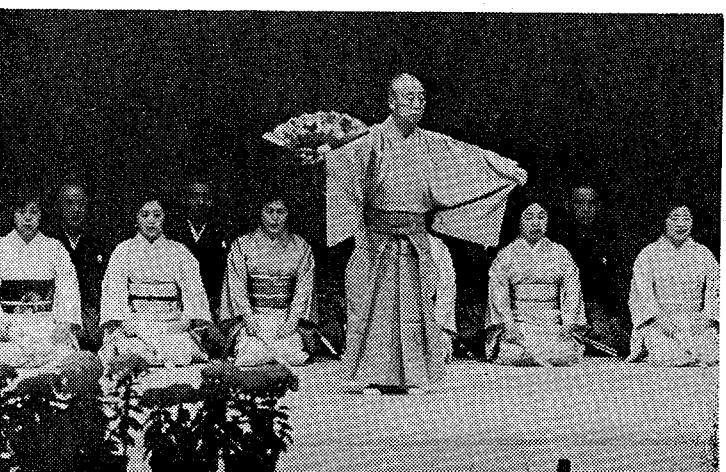
## 記念式典



▲華やか



▼関根直孝さんによる仕舞「菊慈童」



文化都市宣言記念式典  
実行委員長 中野実さん

### 市民の願いをここに

「市民の文化的な熱意を結集した意義ある式典にしなければと準備をすすめきましたが、とくに、越谷の伝統的なものをいかに紹介していくかということを考慮しました。あらゆる生活が文化。文化というものをどうとらえていくかが、私たち市民一人一人の今後の課題だと思っています。」

### あなたと市政を結ぶかけ橋・広報こしがや



新方川は岩槻市に源を発し、春日部市西部、越谷市北東部を流れ、中川へ流入する一級河川で、延長が約11.0km、流域面積が41.6km<sup>2</sup>です。

昭和初期中川本川の改修に伴い、土地改良事業で改修され、弥栄町付近の川が用水路「逆川」(通称)をもぐって流れていました。逆川は昭和57年度から施工され、61年には終了の予定です。このほかに御料堀合流点から上流の河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)として採択されました。

工事は昭和57年度から施工され、61年には終了の予定です。この工事は昭和57年度から施工され、61年には終了の予定です。このほかに御料堀合流点から上流の河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)として採択されました。

逆川を伏越にして、新方川の下に潜らせ、新方川を上にして流下させる工事を行います。引き続ぎ県道越谷・野田線(旧16号)の橋梁(りょう)工事、河道の拡幅工事等を施工する予定です。

これの一連の工事が完成すれば新方川は昨年の台風18号クラスの降雨に対応できる河川となります。

工事期間中は、市民のみなさんのご理解、ご協力をよろしくお願いします。

△左側の伏越(ふせこし)…川と川が交差する場合、片方の川を下に潜らせて流下させる方法をいう、サイホンという名称でも呼ばれる。

△右側の伏越(ふせこし)…川と川が交差する場合、片

ながら互いに個性を伸ばし、創造性を培い、人間としての生き方をより豊かに創造していくことのできる「人づくり」にあります。(起草部会長の経過報告から)

△左側の伏越(ふせこし)…川と川が交差する場合、片

方の川を下に潜らせて流下させる方法をいう、サイホンという名称でも呼ばれる。

△右側の伏越(ふせこし)…川と川が交差する場合、片

ながら互いに個性を伸ばし、創造性を培い、人間としての生き方をより豊かに創造していくことのできる「人づくり」にあります。(起草部会長の経過報告から)

△左側の伏越(ふせこし)…川と川が交差する場合、片

方の川を下に潜らせて流下させる方法をいう、サイホンという名称でも呼ばれる。

△右側の伏越(ふせこし)…川と川が交差する場合、片

方の川を下に潜らせて流下させる方法をいう、サイホンという名称でも呼ばれる。

△左側の伏越(ふせこし)…川と川が交差する場合、片

ながら互いに個性を伸ばし、創造性を培い、人間としての生き方をより豊かに創造していくことのできる「人づくり」にあります。(起草部会長の経過報告から)

△左側の伏越(ふせこし)…川と川が交差する場合、片

方の川を下に潜らせて流下させる方法をいう、サイホンという名称でも呼ばれる。

△右側の伏越(ふせこし)…川と川が交差する場合、片

方の川を下に潜らせて流下させる方法をいう、サイホンという名称でも呼ばれる。



文化都市宣言の記念碑寄贈



文化都市宣言の記念碑が  
行われました。この記念碑は、越谷市が  
オーバーライド（開拓精神）が文化都市宣  
言を実現するに貢献したもので、中央には  
西園・五郎の名な自然石、中央には  
農村市長直筆の文化都市宣言文が刻まれて  
います。



迷い犬を預かっています

10月20日ごろ、東越谷3丁目のビック  
グ付近で迷っている犬を見つけて保護  
しました。柴犬のメスで6か月くらい  
と想われます。見つけた時は首輪はあ  
りませんでした。お心あたりの方は下  
記までご連絡ください。

連絡先 植松書店65-0165(中島3-26)

## みんなの広場

▲大相撲錦織



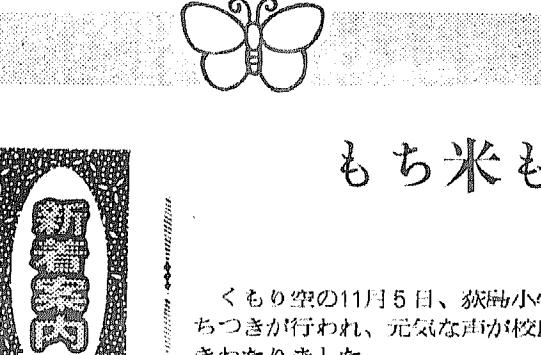
今年で17回目を迎える東越谷東  
郷の菊花大会が、今年は市制施行  
25周年・文化都市宣言を記念し  
て市役所南側で2日間開催さ  
れました。また、大相撲錦織でも菊  
花が催されました。(写真)。市内  
の多くの園芸家のみなさん  
から出品された市の花ギフトが、秋  
空のもとで咲き誇っていました。

⇒ 市の花“キク”が  
あでやかに



好天に恵まれた10月30日、市のスポーツの祭典、第28回市民体育祭中央大会が、増林の総合公園陸上競技場で開かれました。13の地区に分かれ、多くの傾斜で熱戦が繰り広げられると、応援の人たちの山も一段と高まります。この人波では、一年前に行われた各入スポーツの総合順位も争われ、優勝は蒲生町、準優勝は川柳町で、3位は柳井町でした。

⇒ 大声援／市民体育祭



今年で17回目を迎える東越谷東  
郷の菊花大会が、今年は市制施行  
25周年・文化都市宣言を記念し  
て市役所南側で2日間開催さ  
れました。また、大相撲錦織でも菊  
花が催されました。(写真)。市内  
の多くの園芸家のみなさん  
から出品された市の花ギフトが、秋  
空のもとで咲き誇っていました。

⇒ 市の花“キク”が  
あでやかに



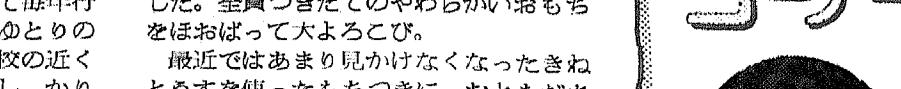
今年で17回目を迎える東越谷東  
郷の菊花大会が、今年は市制施行  
25周年・文化都市宣言を記念し  
て市役所南側で2日間開催さ  
れました。また、大相撲錦織でも菊  
花が催されました。(写真)。市内  
の多くの園芸家のみなさん  
から出品された市の花ギフトが、秋  
空のもとで咲き誇っていました。

## おいしいお手軽に舌つづみ

1日、老人ホーム順正苑におすしの懇  
親がありました。これは、大袋地区的大  
袋鮑糞糞組合が11月1日の「すしの日」  
を記念して行ったものです。

川越された100食分のにぎりすしに、  
お仕合せは舌つづみをうって、おいしい  
お手軽でした。

⇒ おいしいお手軽に舌つづみ



10月125日～29日、市役所で「リサイクルライフ  
展」が開かれました。「ゴミの中からこんなもの  
コーナー」では、今年8月から3ヶ月間に亘りゴミと  
して捨てられた品物の中からまだ使えそうなもの  
を展示。必携セットやテレビなど50点は、新品同様  
のゴミに、防れた人の中からは「ワーモったいいな  
い」という声がしきりに聞かれました。

⇒ おいしいお手軽に舌つづみ

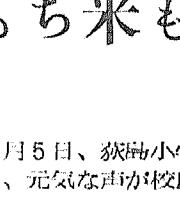


くもり空の11月5日、狹山小学校でも  
ちつきが行われ、元気な声が校庭にひび  
きわたりました。

5年生の体操学習の一環として毎年行  
われているこの行事は、生徒にゆとりの  
心をもたせようというものです。学校の近く  
の田んぼに自分たちで田植えをし、かり  
入れたもち米でついたおもちはおもは  
からみも

最近ではあまり見かけなくなったきね  
とうすを使ったもちつきに、おともだち  
はみんなとてもたのしそうでした。

⇒ おいしいお手軽に舌つづみ

もち米もおもちも  
みんなの手作り

くもり空の11月5日、狹山小学校でも  
ちつきが行われ、元気な声が校庭にひび  
きわたりました。

5年生の体操学習の一環として毎年行  
われているこの行事は、生徒にゆとりの  
心をもたせようというものです。学校の近く  
の田んぼに自分たちで田植えをし、かり  
入れたもち米でついたおもちはおもは  
からみも

⇒ おいしいお手軽に舌つづみ



くもり空の11月5日、狹山小学校でも  
ちつきが行われ、元気な声が校庭にひび  
きわたりました。

5年生の体操学習の一環として毎年行  
われているこの行事は、生徒にゆとりの  
心をもたせようというものです。学校の近く  
の田んぼに自分たちで田植えをし、かり  
入れたもち米でついたおもちはおもは  
からみも

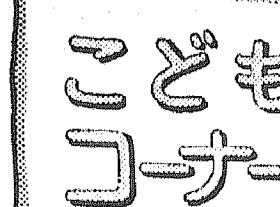
⇒ おいしいお手軽に舌つづみ



くもり空の11月5日、狹山小学校でも  
ちつきが行われ、元気な声が校庭にひび  
きわたりました。

⇒ おいしいお手軽に舌つづみ

## こどもコーナー



安井 浩くん  
越ヶ谷小6年

きょうは友だちと3人  
で市役所に遊びにきました。学校では体育が好き  
で、体操クラブに入っています。

⇒ おいしいお手軽に舌つづみ



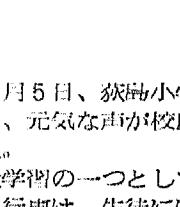
安井 浩くん  
越ヶ谷小6年

きょうは友だちと3人  
で市役所に遊びにきました。学校では体育が好き  
で、体操クラブに入っています。

⇒ おいしいお手軽に舌つづみ



## こどもコーナー



安井 浩くん  
越ヶ谷小6年

きょうは友だちと3人  
で市役所に遊びにきました。学校では体育が好き  
で、体操クラブに入っています。

⇒ おいしいお手軽に舌つづみ



安井 浩くん  
越ヶ谷小6年

きょうは友だちと3人  
で市役所に遊びにきました。学校では体育が好き  
で、体操クラブに入っています。

⇒ おいしいお手軽に舌つづみ



安井 浩くん  
越ヶ谷小6年

きょうは友だちと3人  
で市役所に遊びにきました。学校では体育が好き  
で、体操クラブに入っています。

⇒ おいしいお手軽に舌つづみ



安井 浩くん  
越ヶ谷小6年

きょうは友だちと3人  
で市役所に遊びにきました。学校では体育が好き  
で、体操クラブに入っています。

⇒ おいしいお手軽に舌つづ





